

Press Release



チャーティス、富士火災の株式に対する公開買付けの結果を公表

2011年3月25日 – チャーティス・インク(アメリカン・インターナショナル・グループ・インク(AIG)傘下の損害保険事業の持株会社、以下、チャーティス)は本日、そのグループ会社であるチャーティス・ジャパン・キャピタル・カンパニー・エルエルシー(以下、チャーティス・ジャパン LLC)を通じて、富士火災海上保険株式会社(以下、富士火災)の普通株式および新株予約権の全てを取得する目的で実施していた公開買付け(以下、本公開買付け)において 305,256,945 株の応募がありましたのでお知らせいたします。チャーティス・ジャパン LLC は買付予定数の上限および下限を設定しておりませんので、応募株式等の全部を買付けます。

本公開買付け期間は 2011 年 2 月 14 日から同 3 月 24 日まで実施されました。本公開買付け価格は1株当たり 146 円でした。応募株式数(305,256,945)の発行済株式総数(700,239,075)に対する割合は 43.59%、既保有分(54.66%)と合算して、チャーティス全体の保有割合は 98.25%となりました。応募株式の決済は 3 月 30 日から開始されます。

チャーティスは最終的には本公開買付けに応募されなかった全株式を取得する予定です。日本の法令に従った必要な手続きを経て、富士火災は東京証券取引所および大阪証券取引所から上場廃止となり、チャーティスの完全子会社となります。チャーティスは引き続き富士火災の社名とブランドを維持する方針です。

チャーティス・グループの日本および韓国事業を統括するチャーティス・ファー・イースト・ホールディングス株式会社の社長兼 CEO ホゼ・ヘルナンデスは次のように述べています。「今後は、富士火災をチャーティス・グループの完全子会社として迎え、グループの事業および財務基盤を一段と強化・拡充しながら引き続き高度化・多様化する日本のお客様のニーズに応える画期的な商品と最高品質のサービスを提供してまいります」。

###

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先:

チャーティス・ファー・イースト・ホールディングス株式会社
広報渉外本部 03-5619-3236 松山、佐藤

チャーティスについて

チャーティス(AIGの損害保険事業部門)は、損害保険業界の世界的なリーダーであり、160以上の国や地域で、4,500万以上のお客様にサービスを提供しています。日本においては、1946年にAIU保険会社が損害保険事業を開始し、1960年にはアメリカンホーム保険会社が損害保険事業免許を取得、さらに1991年には株式会社ジェイティービーとの合弁保険会社とするジェイアイ傷害火災保険株式会社をスタートさせ、日本のお客様に対しグローバルスタンダードの損害保険と損害保険関連サービスを多様な販売チャネルを通じて提供しています。

富士火災について

富士火災は、1918年の創業以来、個人や中小企業、従業員に対し損害保険と損害保険関連サービスを提供しています。全国175の営業拠点と109の損害サービス拠点および約22,000店の代理店(2010年4月1日現在)を通じ事業を展開しており、地方を含めた全国各地をカバーするネットワークを有することを特長としています。“身近で頼れるプロフェッショナル”として、すべてのお客様に「革新的な商品」と「最高品質のサービス」を提供しています。1996年には富士生命を全額出資の子会社とし、2010年3月には第三者割当増資に伴いチャーティス・グループ会社となっていました。